

★「非日常から見えてきた世界秩序」

あつという間に師走となり、今年もあとわずかとなりました。ロシアのウクライナ侵攻、さらには円安、そしてすっかり定着したインフレと、想定外の環境が日常化した一年だったと思います。また、既に3年目に入り、落ち着いたと思っていたコロナも、中国ではゼロコロナ政策でかえって長引き、それでも強引に政策を維持しようとする姿に、今後の危うさを感じられます。このように目先の変化があまりにも大きいので、そこに目が奪われがちですが、非日常が続いてきたからこそ見えて来た、大きな世界秩序のようなものについてお話ししたいと思います。

例えば、世界の構図はすっかり巨大資本家達に有利な社会になっています。いまさらながら気づいたのは、世界でも最も影響力のあるアメリカの大統領の選挙が、あれほど長期で行われるのも、じっくり人選するというよりは、わざと資金が必要な仕組みにしているのではないかと思えないくらいです。



膨大な資金力が無いと大統領になれず、誰がなっても（自分で資金を用立て出来るトランプのような人間は例外として）、結局スポンサーの言いなりにならざるを得ないのがアメリカの選挙でしょう。

EUに至っては、選挙で選ばれた各国の代表よりも、誰が選んだかもわからないEUの官僚が全てを牛耳っていますし、日本の政治家も、アメリカの大資本か、はたまた中国のどちらかになびくかを迫られ、それに抵抗して自国の利益を守ろうとする者はマスクミを使って集中攻撃を受けるといって、信じられない状況下にあるのではと思います。

企業も、いつの間にか「株主のもの」というのがグローバルスタンダード化しています。永年ご愛顧してくださっているお客様や、愛社精神を持ち一生かけて頑張ってくれている社員、協力してくださっている取引先よりも、明日株式を売るかもしれない株主であったとしても、大口の株主、つまりより大きなお金を持つものほど影響力を持つような仕組みになっているのです。

我々の生活も、自分たちで食料を自給出来ていた時代とは違い、今では生活のほぼ全てをお金で購入しなければ生きていけない時代となり、すっかりお金の影響力が強まっています。

そんな影響力を増しているお金の最大の出どころが、アメリカの主要な産業である「軍需」「医療」「エネルギー」「食品」であることを考えてみると、「エネルギー」「食品」であることと考えると、今世界で起こっていることや、世界のマスクミを使っている唯一の真実のように一方的な報道がされていることも、「なるほど」とクリアに見えてきます。あるいはこれから起こるであろうことも予想できるかもしれません。

例えば、ウクライナの問題を考えてみましょう。今にして思えば、アメリカがロシアの進軍を止めようとしなかったのも、アメリカの軍需産業の立場から見ると当然だったわけですね。そして、今後につ

いても、長期化したほうが彼らの業績に好都合で、さらには彼らに盾突くプーチンやロシアを消耗させることが出来るのだと考えると、短期での解決は望み薄のように思われます。そう考えると、世界経済がはつきりとした下降局面に突入しても、インフレの長期化は避けられないので、スタグフレーションに陥る…残念ですが、そんなシナリオが現実になりそうです。

悔しいけれど、この秩序を変える力は今の我々にはないですが、ではどうすればいいでしょうか。メディアは出来るだけ見えない。愚民政策（支配階層が人民の目を政治から逸らす政策。終戦後は3Sのスポーツ、スクリーン、セックス。今はスポーツ、テレビやスマホを通じた娯楽でしょうか）にはあえて近寄らない。お金のかからない自立した生活を心掛ける。あるいは、彼らの思考を読みながら、賢く自らのお金に働いてもらう等々。色々考えられると思いますが皆さんはどうでしょうか。まずは彼らの思い通りにならないためにも、「お金から自由になる」ための長期投資に、これからも励みたいものです。

それでは、今年もご愛顧ありがとうございます。皆様、益々素敵な年をお迎えください。

多根幹雄





YASUの

マーケット・ストラテジー

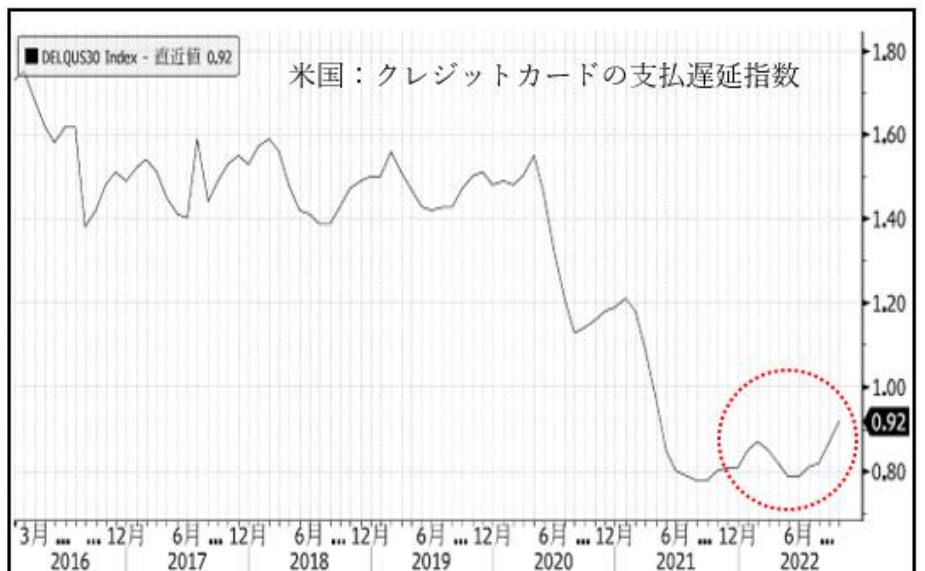
投資家が米FRBによる金融政策の転換を期待する中、11月の世界金融市場は前半から反発し始め、総じて好調な月となりました。月末には米国債利回りが0.25%低下したことを受けて株式市場は直近の高値を更新し、S & P 500は10月12日の直近安値から10%を超えて上昇しました。米国債利回りの低下は金価格も押し上げ、金価格は月初の1,641ドルから月末には1,770ドルに急騰しました。しかし、コモディティ指数全体は比較的安定して推移。為替市場は、米ドルが前月比約7%急落した影響もあって、大きく変動しました。

米FRBが利上げペースを鈍化させるのではないかとの期待から、投資家は金融市場に対して楽観的な姿勢を示しています。市場のリスク選好の強まりは、ハイイールド債が好調に推移し（前月比+2.2%上昇）、国債とのスプレッドも比較的安定的に推移したことからも伺えます。

早くも2022年の年末にさしかかり、FOMCの会合も年内残すところ1回のみ

となりました。市場には、パウエル議長並びに他のメンバーらは少なくとも当面はより緩やかなペースで利上げを実施するだろうとの期待が広がっています。11月の比較的楽観的な市場ムードは一部この期待感に支えられたものです。実際にパウエル議長が11月30日の講演でも利上げ減速を示唆したため、利上げペースは市場が期待する方向に進む可能性が高まりました。

しかし楽観的な見通しがある一方、足元では企業の一株当たり利益（EPS）が低下しているほか、ウクライナ情勢の予想外の展開や依然厳しい中国政府のコロナ政策など懸念すべき問題が残るため、今後も市場が再調整する可能性があります。加えて、経済成長の鈍化、さらには米国のクレジットカードの支払い遅延指数が増加してきていることにも示唆されるように、景気後退が投資家心理を冷やす可能性があるでしょう。ただし、市場は既に多くのマイナス材料を織り込みつつあるため、株式購入のタイミングは徐々に近づいていると考えています。今後数年にわたって長期保有するのであれば、これからの市場の下落局面で買い進める戦略はかなり興味深い投資戦略になるのではないかと考えています。



Source: Bloomberg

樋口恭信



★たねころ山ツアーに参加

何度目かになるたねころ山ツアーに参加させていただきました。今回も新しいイベントがあり、毎回違う内容で何度来ても飽きることがありません。

冬が近くても天候に恵まれ、気持ちのいい状態から開始となりました。

最初のあいさつから乾杯となり、磯野さんが用意してくださった炭火焼ステーキは今回も格別でした。

新しい内容としてスイスのジュネーブから持ってきたという樋口さんご夫妻によるチーズフォンデュや参加者のお子さんたちによるデザートオリジナルピザも楽しめました。

その後は翌日の朝食のための伊豆の風を使ったアジの開き作りや夕食の芋煮のための里芋堀りなどが行われました。

まさに自然の恵みから美味しいものをいただくという感じです。持ち帰った里芋はまさに絶品でした。この山で採れたみかんもとても美味しかったです。

このようにホストとゲストの区別もなく、お互いに役割を交えながら自然の恵みを受けるこのツアーはどこでも味わえるものではありません。

長期投資で増やした財産をいかすというモデルにおいてはとても良い体験になると思います。

また、家族ではこのような体験がお子さんの成長のなかで大切な思い出となることでしょうか。高い場所では少しヒヤヒヤすることもあると思いますが。

主に年2回、春と秋に開催されているこのツアーには多くの方が参加していただきたいと思います。そして多くの方が交流し合い、この長期投資が広がっていききっかけとなればよいと思います。

最後に私の長期投資のきっかけは澤上篤人さんの静岡で行われた講演となります。この内容は『お先に失礼！2』にまとめられていて、私も質問者の中にいます。

この時からずいぶん経ちますが長期投資の考えがどんどん広まってほしいと思います。

関東在住 H・N



樋口さん夫妻のスイス本場のチーズフォンデュも人気でした



ステーキ・パスタ・サラダのワンプレート

H・Nさん、ありがとうございます。また、たねころ山ツアー、たびたびのご参加ありがとうございます。今回のメニューもご堪能いただけたようで、よかったです。

一度、私がお点前をした野点イベントの時に、「肉が少なかった」とのご指摘をいただきました。「お茶」↓「和食」↓「魚」という発想でメイン料理を「鮭のホイル焼き」にしてみました。その時ですね。ビックリしましたが、そこまでステーキを気に入っていたいてたんだと、ありがたかったですね。それから、ステーキには肉の選択から、下準備、焼き方まで、かなりこだわってやっております。

磯野

11月のマーケット概要

米国株式市場は、おおむね月初から、緩やかに上昇しました。11月2日FRBのパウエル議長は、「今回のFOMCでは0.75%の利上げを決定しましたが、12月は、利上げ幅を縮小する可能性がある」と述べました。もちろん「一時停止を考えるのは非常に時期尚早だ」とも付け加えたので、大きな相場の上昇にはなりませんでしたが、4日の米国雇用統計では、雇用者数は増加し、失業率も増加、インフレの減速が意識され、相場は上昇を始めました。10日発表の米国10月CPIも前年比伸び率が+7.7%となり、9月の8.8%から減速、インフレピークアウトの兆しとなりました。23日発表の11月1-2日のFOMC議事要旨でも、参加者の大多数がハト派的発言をしていたことがわかり、相場はさらに上昇を速めました。

一方の日本株式市場も、10月下旬の日銀の大規模為替介入と、米国金利の低下をきっかけに、極端なドル高は是正され、米国株の上昇につれて順調に上昇しました。

コドモファンド

変幻自在ずーっとおまかせ

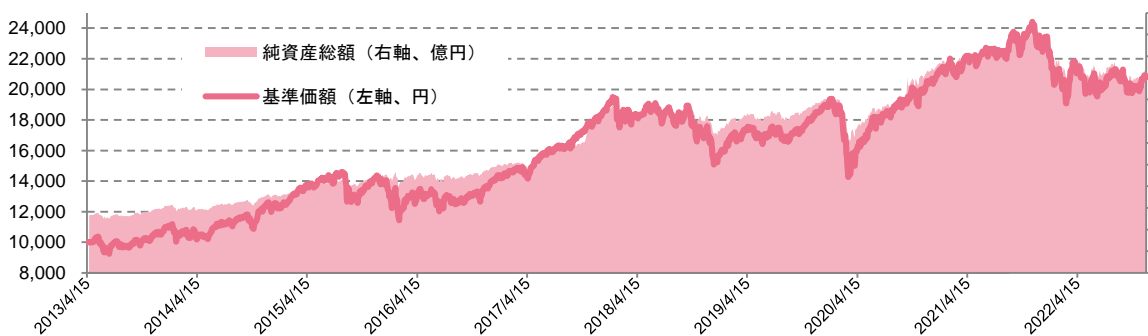
【11月の運用コメント】

月初の上昇時に、コムジェスト世界株式ファンドを一部売却、キャッシュ比率を高めました。

月末には、中国の企業への投資比率が高いマシューズアジアを一部売却、2Xideasに追加投資しました。

アトランティス、SBIリバイブ、同ネクスト、コムジェスト・ヨーロッパが大きく貢献し、基準価額は、前月比+3.36%となりました。年末にかけて不安定な相場になれば、果敢に投資していきたいと思っています。

基準価額と純資産総額の推移



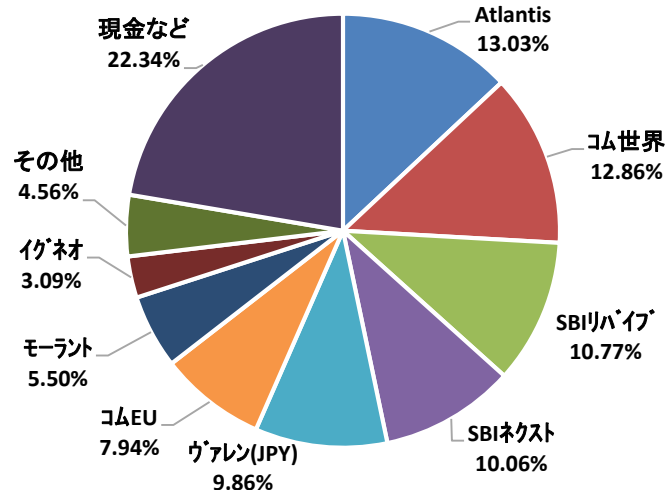
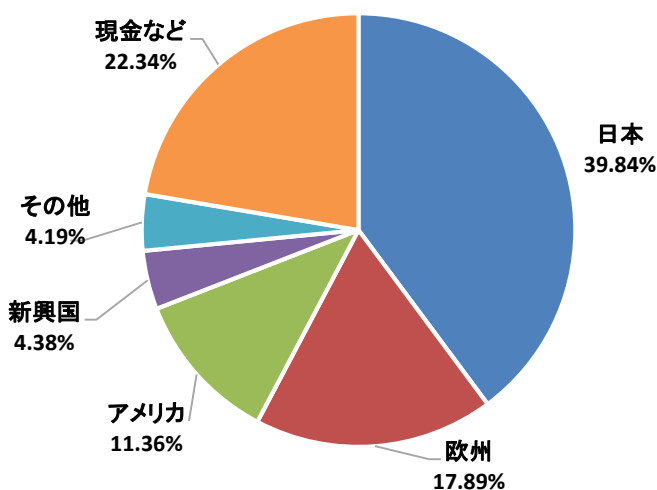
組み入れファンドTOP5 基準価額の前月比

Atlantis	9.36%
コムジェスト世界株式	2.63%
SBIリバイブ	5.93%
SBIネクスト	4.83%
ヴァレン(JPY)	4.33%

コドモファンド概況

基準価額	20,797円	信託期間	無期限
純資産総額	9,290百万円	決算日	毎年2月25日 (休業日の場合は翌営業日)
設定日	2013年4月15日		

資産構成比率(組入ファンド全11本)(左:国別、右:ファンド別)



期間別騰落率(%)

1ヵ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	10年	設定来
3.36%	-0.01%	1.46%	-9.77%	12.45%	14.49%	-	107.97%
					(複利年率)	(複利年率)	(複利年率)
					(2.74%)	(-)	(7.90%)

ファンドにかかわる費用

運用管理費用
(信託報酬)

年率1.10%(税抜き1.0%)

組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年率1.75±0.5%(税込/概算)

浪花おふくろファンド

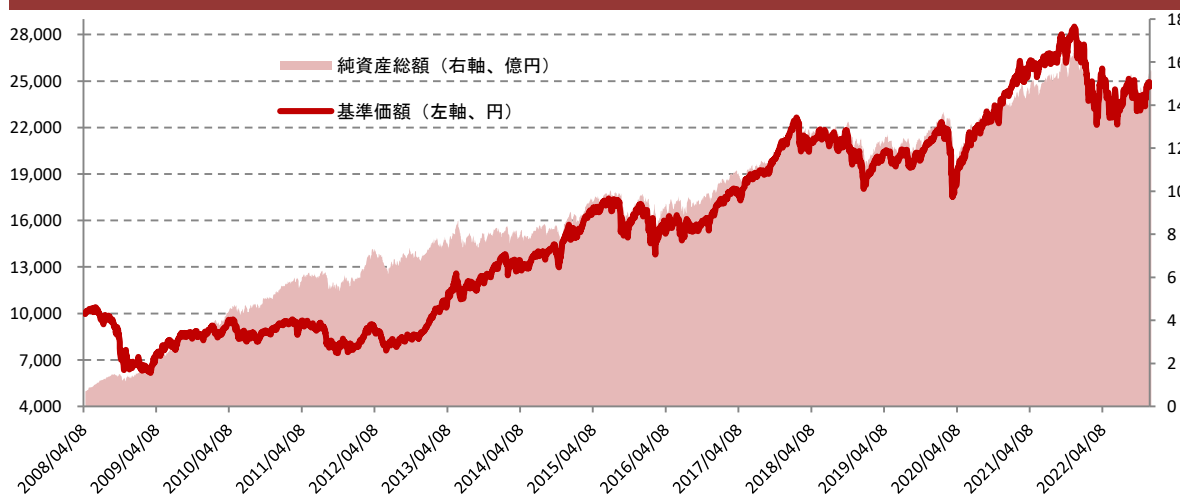
じっくりどっしり長期運用

【11月の運用コメント】

月初の上昇時に、コムジェスト世界株式ファンドを一部売却、キャッシュ比率を高めました。カーディフジャパンαファンド、SBIリバイブ、コムジェスト・ヨーロッパが大きく貢献し、基準価額は前月比+3.42%となりました。年末にかけて不安定な相場になれば、果敢に投資していきたいと思っています。

基準価額と純資産総額の推移

組み入れファンドTOP5
基準価額の前月比

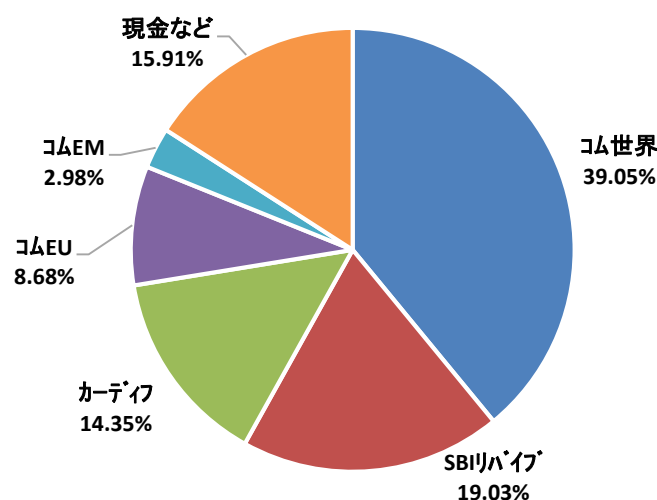
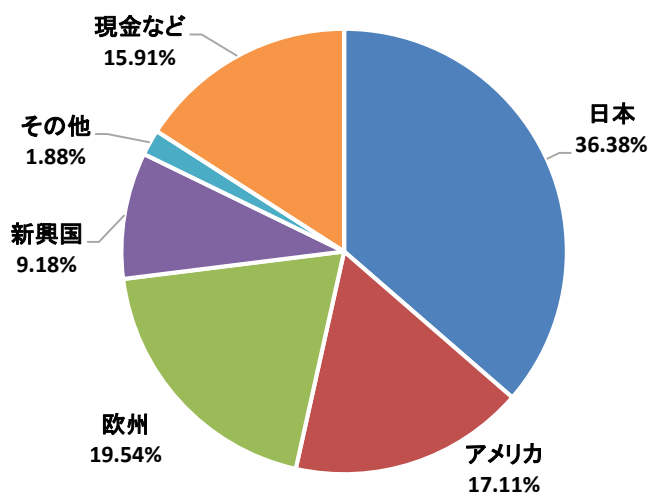


コムジェスト世界株式	2.63%
SBIリバイブ	5.93%
カーディフ	7.00%
コムジェストヨーロッパ	5.20%
コムジェストエマージング	1.65%

浪花おふくろファンド概況

基準価額	24,631円	信託期間	無期限
純資産総額	1,536百万円	決算日	毎年3月3日
設定日	2008年4月8日		(休業日の場合は翌営業日)

資産構成比率(組入ファンド全5本)(左:国別、右:ファンド別)



期間別騰落率(%)

1か月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	10年	設定来
3.42%	1.56%	4.30%	-8.82%	15.72%	16.22%	181.88%	146.31%
					(複利年率)	(複利年率)	(複利年率)
					(3.05%)	(10.91%)	(6.34%)

ファンドにかかわる費用

運用管理費用 (信託報酬) **年率0.99%(税抜き0.9%)**
組み入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年率1.65±0.5%(税込/概算)

コモファンド・浪花おふくろファンドにかかわる共通のその他費用・手数料

信託財産に関する租税、投資対象とする投資信託証券の売買に発生する売買委託手数料及びその手数料に対する消費税相当額等の費用、外貨建資産の保管等に要する費用は、お客さまの負担として、信託財産中から実費を負担します。

設定・運用・販売はクローバー・アセットマネジメント株式会社／金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2727号

※比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

☆クローバーフェイスブックから

☆たねころ山ツアー 2022 秋

2022. 11. 19、20「ヴィンテージになれるかも」シリーズの「たねころ山ツアー」が開催されました。参加者は、ファンド仲間、クローバー社員、家族で総勢32名（過去最大55名とはいきませんでした）がコロナ禍以降最大となりました。

初めてご参加の方も、5名いらっしゃって、年齢も70代から10歳未満までと多岐にわたりましたが、長期投資仲間という共通点で昔からの知り合いのように一緒に楽しくていただきました。

11時に伊豆宇佐美駅に車でお迎え、5分ほどでたねころ山に到着。イベント開始宣言があ



あって名古屋から初参加の後藤様に乾杯の挨拶をいただきました。

恒例のBBQ（前日から仕込んだミスジ肉、鶏もも肉など）も、いつもの熟練の焼き手によって、やっぱりわらかくジュ



ーシーに仕上がりました。新メニューとしてトマトソース（フルーツトマト、ベーコン、玉ねぎなどを2日間煮込んだ濃厚な）で茹でたてのパスタ（ショートパスタ・フジッリ）を和えたものも好評のよう。食後には、

子供たちを中心にペットボトルで生地を仕上げたデザートピザ、伊豆宇佐美の風景の中での楽しいランチパーティーとなりました。

食後は、新鮮なアジを開いての干物作りに挑戦。はじめての方も多くドキドキでしたが、無事に網にのせられ、宿泊の方たちの翌朝の朝ごはん、日帰りの方は、干しの途中をお持ち帰りができました。

また、サトイモの収穫も。これも宿泊の方の夕食の芋煮の材料ですが、日帰りの方にもお持ち帰りいただきました。

約半数の方が、テントで一泊されることになり、夜は芋煮を中心に、皆さん持ち寄りの各種アルコールを楽しむタベで大盛り上がりとなりました。テント泊が人生初の方もいらっしゃいましたが、思ったより快適だったようです。



翌朝は、一夜干しのアジの開きその他の豪華な朝食。10時過ぎには無事お開きとなりました。

次回は、来年4月後半から5月上旬の開催となる予定です。弊社HP、セミナーでお知らせいたします。皆様のご参加をお待ちしております。



★「パンチエッタの目玉焼き」



「パンチエッタ」とは、イタリア語で「豚バラ肉（pancetta）」という意味で、その名の通り、塩漬けた豚のバラ肉

をじっくりと熟成させた加工肉のこと。皆様ご存知のところでは、「スパゲティ・カルボナーラ」で知ってらっしゃる方もいらっしゃるかもしれません。これはパンチエッタが主役です。日本では「カルボナーラ」と名前がついていても大体ベーコンを使っている場合が多いです。

そんな中、すでに何年か前からトライしてたのですが、この一ヶ月ほど何回か「自家製パンチエッタ」作ってみました。今のところマイブームですね。

今回は、1.45キロの豚バラ肉を買ってきて、キレイに表面を水洗い、水分をふき取



って、フオーク等で細かく穴をあけ、肉の重さの10%の粗塩、黒コショウ、ローズマリー、タイムなどを肉の全面に擦り込み、バットに入れてラップで包み冷蔵庫へ。3日後、水分がかなりシミ出てきますので、肉表面の粗塩も含め、10分ほど流水で流し、水分をふきとってキッチン



写真1

ペーパーに包みもう一度冷蔵庫へ。一週間も経つと水分がかなり抜け、肉の赤みがアンバー色に変わってきます。これでやっと食べられる状態。

現在、この原稿を書いている時点では、塩漬けて3日目、家に帰ったら水洗いをする楽しい作業が待っているのです。

3週間ほど前に、ひさびさに作った時は、写真1の状態（完成）を確認したのが、土曜日、朝の5時前でした。待ちきれなくて目が覚めてしまいうんですね。さすがに、家内もまだ起きてないので朝食メニューで驚かそうと、トリュフ・目玉焼きにあやかっって、パンチエッタ・目玉焼き、ついでに、クリームチーズとカリカリパンチエッタ入りのポテサラも作りました。10日間の労力の甲斐があり、満足の朝食でした。

その後、夕食には、（写真2）カサレツチエ・アマトリチャーナにパンチエッタをタッピング使ったソースをかけて楽しみました。ただ、

写真2



分添加したソースとなりました。大変失礼しました。来春は、計画的に作ります。

こんな感じで、我が家では、ドライトマト（やわらかめ、固めなど）、なめ茸（最近は、バター醤油味、実山椒トッピングなど）、スクロイン、もちろんパン各種など手作りを楽しんでいます。

写真3



磯野昌彦



私事で恐縮ですが、一身上の都合で、年内を最後にクローバー・アセットマネジメントを退職することとなりました。この場をお借りしてご報告いたしますとともに、お世話になりました皆様には深謝申し上げます。簡単なご挨拶ではございますが、これからも、クローバーとファンド仲間である皆様の益々のご発展をお祈り申し上げます。

三浦隆任



” クローバー 投資政策セミナー 2022.12 ”

2022年
12月16日(金)
18:30~20:00

対面&ライブ配信セミナー
対面: 定員5名 <東京>
ネット: 定員30名

樋口 恭信 (チーフ・ストラテジスト)
多根 幹雄 (代表取締役社長)
磯野 昌彦 (専務取締役)



クローバーから大切なお知らせ

業務管理部からのお知らせ

【年末年始の休業について】

2022年12月31日(土)~2023年1月3日(火)

※年内に解約代金を受取るためのお手続きは、12月23日(金) 15:00が締切となります。

【投資信託説明書(交付目論見書) 交付のお知らせ】

「投資信託説明書(交付目論見書)」不交付の同意をされていないお客様を対象に、2022年11月下旬から「投資信託説明書(交付目論見書)」(コドモファンドは11月26日改訂版、浪花おふくろファンドは12月3日改訂版)をコドモDM便またはメールにて交付いたしました。お取引の前には、必ずご一読ください。
なお、「お客様マイページ」にご登録いただきましたお客様は、マイページ上に交付しておりますのでご確認ください。

【投資信託説明書(交付目論見書)の電子交付(メールでの交付)について】

印刷した交付目論見書が不要の場合は、電子交付サービスをお申してください。

※電子交付サービスの詳細は、「重要事項説明書 約款・規程集 第5編 電子交付サービス取扱規程」をご確認ください。

【交付目論見書『不交付の同意』について】

不交付の同意をされた場合、交付目論見書改訂の都度、交付いたしません。

ただし、投資判断に関わるような、重要な変更がある場合には、交付いたします。また、不交付の同意後でも、ご連絡いただきましたらいつでも交付いたします。

※今後、交付目論見書について「電子交付(メールでの交付)」、「不交付の同意」をされるお客様は、当社業務管理部までお電話にてご連絡ください。

【毎月つみたてスケジュール】

次回引落日は、**2023年1月5日(木)**です。

2023年1月分金額変更・中止・再開締切日… **2022年12月21日(水)**

2023年2月分新規・口座変更締切日… **2022年12月29日(木)**

※毎月つみたてサービスの金額変更・中止・再開については、お電話でも承っております。

クローバー・アセットマネジメント株式会社
(受付時間: 平日9時~17時)

お客様専用通話料無料ダイヤル: 0800-5000-968

E-mail: gyoumu@clover-am.co.jp

ファンドにかかわるリスク

当ファンドは、値動きのある国内外の株式等に投資する投資信託証券に投資しますので、基準価額はその影響を受け変動します。
投資信託は預貯金と異なり、投資元本が保証されているものではありません。投資による利益および損失は、すべて受益者(投資者)の皆様に帰属します。

基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等があります。リスクについての詳細は投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ファンドにかかわる費用

当社が扱う投資信託に、購入・換金手数料および信託財産留保金はありませぬ。

当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料はクローバー・アセットマネジメント株式会社が運用するファンドの運用状況をお知らせするために作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)等をお渡しますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。
- 当資料に記載された過去の実績は、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中に示された意見等は、作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 当社でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 当資料中に示された数値は、作成基準日現在において入手可能なデータを参照し、弊社にて計算しております。